

2009年7月18日勉強会議事録

プラトン『国家』（下）

発表者：安達（五巻）、中山（六巻）

参加者：嶋田（研）・岩瀬・安達・中山・古川・久富

記録者：久富

第五巻

○ 前章まで・・・

- ・ 人間の「正義」を調べるために「国家」の正義を考えていたはずが、“一人の人間のあり方に最も近い状態にある国が、最もよく治められている国家”と行ってまた人間に戻っているのは論理が循環しているのではないかという疑問が出た。これに対して、ここで言うところの人間とは、ただ有機的にまとまっているというくらいの意味合いでは、という意見が出た。

○ 男女の差について

- ・ 男女の差を考慮しないというスタンスがおもしろいという意見が出た。一方、“すべてにつけて女は男よりも弱い”という認識はある。しかし、ただ性別ではなく、能力や程度の差で区別している。

○ 妻を共有財産に・・・

- ・ 果たしてこれで一体になれたりするのだろうかという疑問の声が上がった。“骨の折れる子育ての仕事は乳母や保母にやらせる”ということは、「家庭」という感覚がすごく薄いのではという意見も。ここで、乳母や保母に任せることは日本の武士社会でもそうだったのではという意見が出たが、日本の場合は確固とした「家」があっただろうという意見が出た。

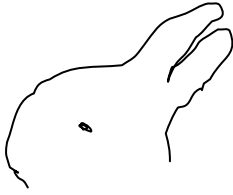
- ・ 三章から六章を読んで、一見すれば女性差別かと思ったが、能力重視で性別はあまり問題にしていないという見方もできる。

- ・ 能力をひたすらのばしていくという意味であって、平等ではない、むしろ全く逆の社会が描かれているという意見が出た。先ほど女性差別という話が出たが、今よりも強い男社会であった当時、この考えは逆にとても女性を尊重していると言えるのではないかという意見が出た。

○ イデア論

- ・ 想起論（アナムネーシス）——もとからあったものを思い出す。

- ・ ウサギアヒル図



うさぎにもアヒルにも見えるということは・・・
 もともと頭の中にうさぎとアヒルのイメージがあるから。
 単なる図形としてはもはや認識できない。
 人間は知っているものしか認識しない。

- ・ 哲人政治は全体主義ではないかという意見が出た。
- ・ “<知識>と<無知>との中間にある<思わく>”について、ここでの<思わく>とはドクサ（憶見）。トラシュマコス「正義」はドクサ、思い込みである。当時の哲学者はドクサで物語りを語る⇒プラトンとソクラテスはそれが許せないのではという意見が出た。ドクサを超えた“知”を愛するということで線引き（規定）をしたのではないかという意見も。

○ 十七章～十八章について

- ・ ソクラテスとプラトンの気持ちがわかるという意見が出た。実現可能かどうかはわからない、かといってそれに価値がないというわけではない。理想を描くことが重要なのではないかという意見が出た。たとえば、日本はアメリカから独立すべきという意見を、実現可能性がないということだけで切り捨てるのはいかなものか・・・。
 ちなみにこのようなソクラテスとプラトンの立場とは反対に、マックスウェーバーは、政治家は結果に対して責任をもつべきと主張している。

○ 全体的な感想として・・・

- ・ 性差の話はおもしろかったけれど、やはり日本とは違うなと思ったという意見が出た。

第六卷

- 哲学者が王になるとは・・・
 - ・ 哲学者に政治を任せられるのか、大衆ではだめなのかという意見が出た。
 - ・ “一隻の船の比喻”について・・・今の日本にも当てはまるという意見が出た。たとえば選挙など。役に立たない人がもてはやされ、優れた人が役立たずとみなされるという風潮があるのでは。
 - ・ どうしたら対象が喜ぶかということを考えて知者になったつもりでいる。選挙でも・・・国民が喜ぶことと国民のためになることは違う。

- ・ ソフィスト=多数者をほめる=多数者を喜ばせる≠良い国家。
これは民主主義への挑戦ではという意見が出た。
消費税問題などでも、目先のことしか考えない人がアンチ増税に走っている。
 - ・ アディマントス・・・大衆にはわかるまい
ソクラテス・・・大衆をばかにするな。話せばわかるものだ。 } どういう意味か
 - 5%の哲学者がいたとして、4%がソフィストで1パーセントが真の哲学者だとすると、4%の言説が大体的に公布されるものである。1%の話は少数しか理解しない。
⇒小泉さんこそが最大のソフィストではという意見が出た。
いつの時代にもソフィストはいる・・・
 - ・ ショーペンハウエルは、芸術家のみがアイデアを理解でき、芸術家の使命とはそれを作品にして伝える（発表する）ものだが、今はニセ芸術家が多くなっていると言っている。
 - ・ 本当の「美」とは無味乾燥なものなのではないか。娯楽が多様化して、刺激を求めるあまり墮落していつているのではという意見が出た。
 - 本当の芸術家（政治家）とニセモノの芸術家はどやって見分ける？
 - ・ 民主主義は本当の政治家がわからないからみんなで決めている。
 - ・ 民主主義がうまくいつているかいないかを日本と外国と比較してはどうか・・・？
外国では民主主義がうまくいつているというが、ナチスは民主主義から生まれきたという意見が出た。外国は違うことが当たり前だが、日本はみんなが多数派に流されるという遺伝的土台があるからうまくいかないのでは。でも外国もうまくいつているわけではないのではという意見が出た。アメリカの選挙戦を見る限り、民主主義＝誹謗中傷合戦だと言えるのではという意見も。
 - ・ メディアはソフィストの巣窟だという意見が出た・
 - 公権力に対して徹底的に批判
 - 秋葉原事件
 - 派遣切り など
- 最初は派遣という雇用形態もフレキシブルで良いものとされていたのに、今やメディアの叩きで全く逆の評価になっている。“メディアはバカと暇人のもの”だというそうだが、さもありませんとメンバー納得。

- 哲人政治をしたとき、大衆はどうふるまえばいいとソクラテスは考えているのか。
⇒やはり、ひたすら自分の仕事をする事だろうという意見が出た。